

委員会名	2023年度 第1回 生産技術委員会
開催日時	2023年5月11日 15:00-17:30
開催場所	JOGMEC 会議室(Google Meet ハイブリッド開催)
出席者 (敬称略)	(現地)吉岡委員長、加藤副委員長、宮田、上野、多田、村井、中島、久々宇、矢島、桐山 (オンライン)小林、村田、知識、佐藤、中田、荒木、安達、阿部、椋平
議事	<p>1. 事務報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石油資源開発の高居委員が退任し、矢島委員が後任となった。 ● 東京大学 増田先生が退任し、小林先生が後任となった。 ● コスモエネルギー開発の深江委員が退任し、宮田委員が後任となった。 <p>2. 幹事会報告</p> <p>知識委員より幹事会議事概要(第88期1回)が報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年度の収支報告に関して、412万円の赤字となり、個人会員の会費徴収が進んでいないのが課題としてあがっている旨、報告された。 ● 令和5年度予算案について以下報告がなされた。 <ul style="list-style-type: none"> □ CCS委員会の設置、法人化検討、ワークショップ開催等が予定されている。 □ 石鉱連盟への事務委託契約が50%から60%となり、各委員の活動費を新設のCCS委員会も含めコロナ前の30万円に戻る。賛助会員費を5万円に変更予定である。 □ 将来の収支改善策として、個人会費を上げるのは今季は見送るが今後の検討課題とする。 ● 秋季講演会の準備状況に関して、新設のCCS委員会の活動についてやDXなどがテーマとして挙げられたが継続検討である旨、報告された。 ● 春季講演会の収支見込に関連して、賛助会員のメリットデメリットの整理と会員への説明の必要性について議論があった旨、報告された。 ● 将来像検討委員会について、各委員会及び松岡先生へのヒアリングを実施した旨、報告された。松岡先生からはCCS委員会の役割として、CCSのジャーナルやニュースレターの配信などの案が出された。 <p>(質疑無し)</p> <p>3. 理事会報告</p> <p>吉岡委員長より第88期第1回理事会議事概要の報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年予算に関して、賛助会員費の増額やHSE委員会より講演会における外部講師への謝金を充当して欲しい要望がある旨、報告された。 ● 収支改善策として法人化による収益源確保の意見が強い。個人会費の増額は、「協会の活動を活発にして会員の納得が得られてから最後に講じる手段である」との認識であるという会長の意見が共有された。 ● CCS委員会に関して、現在提案されている活動内容は重い、理想のイメージとして捉えており、「天然ガス鉱業会を主体として作成されたブラックのガイドラインに倣ったような活動ができないか」といった議論内容が共有された。 ● SPE ATWの開催が了承され、協会賞の結果(奨励賞のみ選出)が共有された。 <p>(質疑)</p> <p>飯野委員：SPE ATWの開催に向けては、実行委員会などを設置するのか。 吉岡委員長：具体的には議事録にはないが、従来と同様の(マンパワーを提供する)対応になると思う。</p> <p>4. 2023年春季講演会について</p> <p>桐山委員より、個人講演での座長就任依頼、及び、優秀発表賞の評価採点方法についての説明がなされた。</p>

- 口頭発表の計8セッションの座長を決定した。
- 評価方法に関して、1人5票持ち、口頭発表及びポスター発表それぞれから1票以上学生優秀発表賞候補に投じる方式にて了承された。
- 1つの会場に票が偏らないように、2つの会場を半々程度での聴講するよう依頼がなされた。
- 発表資料やポスターは事前に委員に共有できるように事務局と調整する。

(質疑)

飯野委員：座長はプレゼン資料は事前に見られるのか

桐山委員：事前に見られるように手配する予定。

加藤副委員長より、シンポジウムの準備状況、及びディスカッション内容について報告がなされた。パネルディスカッションでの議論する内容として、講演者の方へ下記議題で討論できるか調整する予定。

1. カーボンニュートラル社会へ向けた第一歩となる現在地について（3年前からの変化、次のステップ、課題等）
2. 実プロジェクトの企画・立ち上げや動向の変化に関する成功事例、苦労話、裏話等のエピソード
3. 地域目線からのエネルギーシフトへの期待について
4. 踏み込めていない領域（他業界の企業や専門家）、国内企業同士のさらなる連携（オールジャパン）の可能性、政府やJOGMECに期待すること
5. カーボンニュートラルに向けた取り組みを行う日本の石油開発業界に向けてのメッセージ

- 会場に備品の有無を問い合わせた

(質疑コメント)

小林委員：Web配信時に会場にはマイクの声そのまま配信することはできるか

加藤副委員長：できると想定しているが、確認している。

知識委員：ディスカッション内容は全体を網羅されていると思うので、事前に登壇者に現段階での案を投げかけて、どういう議論をしたいのかを作り上げていけばよいのではないかと。

桐山委員：シンポジウムの参加人数を大まかに報告する必要がある

加藤副委員長：役割分担に人数把握要員も加える

5. 次年度の委員会開催日・場所について

久々宇委員より次回の委員会の開催について、説明された。

	2023(案)		2022	2021
第1回	5月11日(木)	JOGMEC (ハイブリッド)	JOGMEC→オンライン	JOGMEC →オンライン
第2回	7月6日(木)	INPEX	ハイブリッド(INPEX)	INPEX→オンライン
第3回	9月7日(木)	JX	JX→オンライン	JX→オンライン
第4回	11月2日(木)	九州大学	ハイブリッド(秋田大)	秋田大→オンライン
第5回	12月1日(金)	京都大学	ハイブリッド(東北大)	東北大→中止
第6回	1月11日(木)	出光	ハイブリッド(CIECO)	CIECO→オンライン
第7回	3月7日(木)	JAPEX	ハイブリッド(JAPEX 技研)	JAPEX→オンライン

	<p>6. 話題提供</p> <p>#1：水素等・CCS 支援業務の概要（エネルギー開発金融部水素・CCS チーム 乙丸様）</p> <p>#2：我が国の洋上風力政策と JOGMEC 調査事業の概要（洋上風力事業部企画課 小嶋様、水谷様、谷田様）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

委 員 会 報 告 書